

第16回宇宙輸送システム部会 議事要旨

1. 日時：平成26年5月20日（火） 15：00－16：15

2. 場所：内閣府宇宙戦略室 大会議室

3. 出席者

(1) 委員

山川部会長、白坂部会長代理、緒川委員、仁藤委員、松尾委員、御正委員、渡邊委員

(2) 事務局

西本宇宙戦略室長、中村宇宙戦略室審議官、森宇宙戦略室参事官、頓宮宇宙戦略室参事官

4. 議事要旨

(1) 新型基幹ロケット開発の進捗状況について

JAXA から資料1に基づき新型基幹ロケット開発の進捗状況について説明があった。説明の主な内容は以下の通り。

- 「新型基幹ロケット開発の進め方」（平成26年4月3日宇宙政策委員会）を踏まえ、新型基幹ロケットの開発を予定通り進めているところである。
- 新型基幹ロケットプリプロジェクトチームを平成26年4月1日付で設置し、概念設計を開始した。
- 概念設計の初期から参加が必要なキー技術に関する事業者を3社選定し、それぞれの事業者とキー技術の開発及び運用に関する協定を締結した。
- 新型基幹ロケットのミッション要求書の改訂提案については、現在事業者が検討中である。今後、改訂提案を受けた上で、改訂作業を進めるが、大幅な改訂は想定していない。
- 今後、ミッション要求書の改訂及び設計検討の結果を踏まえ、総合システム仕様及びロケットシステムや地上設備等への要求を設定する予定である。

説明の後、委員から以下のような意見があった。

○JAXA は新型基幹ロケットの開発を引き続き着実に進めて頂きたい。

(2) 宇宙政策委員会第23回会合の議事概要について

事務局から資料2に基づき宇宙政策委員会第23回会合の議事概要について説明があった。

(3) 「平成27年度宇宙開発利用に関する戦略的予算配分方針」に対する宇宙輸送システム部会の意見について

事務局から資料3に基づき説明があった。その後、「平成27年度宇宙開発利用に関する戦略的予算配分方針」に対する宇宙輸送システム部会の意見について審議を行った。審議において委員から以下のような意見があった。

○部会の意見の内容は案の通りで良いが、審議経緯の一部をより正確に記載するとともに、複数の事業をまとめて記述した部分を事業毎に独立させてわかりやすくするなどの編集上の修正が必要である。

本件に関連して、以下のようなやり取りがあった。

○宇宙輸送システム長期ビジョンにおいて示された将来宇宙輸送システムの2つの発展経路について、今後仮に国がどちらか一方を選択し、開発を集中する場合であっても、もう一方の発展経路の開発を民の活力を生かして進める余地を残すべきでないか。

○民間の活力による取組みは歓迎するが、将来宇宙輸送システムの2つの発展経路については、予算規模をイメージしながらある程度早めに絞りこんでいくことも必要ではないか。

審議の結果、資料3「平成27年度宇宙開発利用に関する戦略的予算配分方針」に対する宇宙輸送システム部会の意見（案）については、部会長一任で編集上の修正を行うこととして、部会として了承した。

「平成27年度宇宙開発利用に関する戦略的予算配分方針」に対する宇宙輸送システム部会の意見は、部会長から宇宙政策委員会に報告することとなった。

以 上